

「本好き」の幸也

京古本やは東

生島遼

人間一生に何冊の本を読むものか。フランス文学者の辰野隆一が、『なんとかいつても、ちゃんと読んだといえるのは三百冊くらいか』と言つたら、皮肉屋の内田百閒さんが『へえ、そんなにたくさん読む本があるんですかい』とさつそく切返したという話。

正直いにかしたが標準いにからぬ。もしはじめてにきかれたら、三百冊が多いのか、少ないのか、私は、はつきりと返答ができるな
い。

地な人間だと思ってるが、それ
でも、年齢とともに好みもいくら
か變っている。あんなに楽しく読
んだのに、と思つて読みかえして、
若いときほど感激しないのも多く
なつた。本当に、本当に今でも読
んで気持ちがぱつと明るくなるよ
うな書物——などと言えば百問さ
んの皮肉じやないが、百冊も二百
冊も、あるわけではない。

町にかけて、一度、三度と往復した思い出はなつかしく、そしてせつない。京都で若いころなじみだった本屋さんのご主人達も、一軒残らず、代替りとなり、中には三代目さんのところもある。『昭和三十年代頃か』古本屋さんが何かさびしく不景気に見えた時期があつたが、このごろはまた盛りかえし活発な動きが見え、代替りの若いご主人たちが、即売会や展示会など多忙らしく、まことに結構なことである。

帝國文庫版の「利刃ハ朴魯文庫」上下二巻を「ありましたぜ」と赤尾（照文堂）さんが自ら手わたしてくれたとき。もう一つは東京本郷のM書店の若主人が、私がほがらかに書いた鏡花の「照葉狂言」初版本のきれいな、ほか「三點思ひがけぬとき」とどけてくれたとき、こんなときは、近年あまり本探しを熱心にやらぬ私でさえも、その好意が本当にうれしくて心がとき、こんな立つた。青年のようにおどり立つた。

京都古書

長年教師をして学校でしゃべっていたから、義理で、或いは、教師のみえで、のぞき見した本もたくさんあるはずだ。こんなものに入れたら三百、四百どころでないかもしだぬ。自分が好きで、本当に好きで、何度もくりかえして読んでもらう。精神の糧のようにして読んでいる本は、はたして何冊か。こ

はり「本好き」の一種族なんだろ
うな。

本の値段もずいぶんお高くなつたが、元来私たちには金のかかる趣味的蒐集など縁遠いこと。こうして本屋さんの小雑誌のたに一人前の顔して拙い文章をかいしていることも、気がひける。読めても読めないでも、カタログを見ても、威勢よくパッパッと注文文ができたらどんなに本探しも楽しかろう

筆者紹介 京都大学名譽教授 持にときどきさせてもえられることで、まず釣合っているのだろう。

著作 フランス文学学者 フランス小説の「探求」

随筆集 日本の小説－朝日選書

スタンダール・フローベル訳本 水中花・蟹氣樓

季刊
第7号
京都古書研究会

〒604 京都市中京区
東洞院六角上ル
京都府古書籍商業協同組合内
振替 京都 22132
年間購読料 240円
(送料込)

季刊 第7号 京都古書研究会 発行
〒604 京都市中京区 東洞院六角上ル
京都府古書籍商業協同組合内
振替 京都 22132
年間購読料 240円 (送料込)

謹賀新年

筆者紹介
京都大学名誉教授
フランス文學者

著作
　　フランス小説の「探求」

日本的小説——朝日選書

スタンダール・フローベル訳本

近世京都の本屋(三)

宗政五十緒

五、寺町二条の本屋 (3)
併説書の出版で知られた井筒屋
庄兵衛の店は前回に述べたが、井筒屋のことにふれるならば、井筒屋よりもわずかだが夙く寺町二条上ル町に店を開いて併説書の出版を手がけた寺田重徳のことを述べねばなるまい。

寺田重徳は通称を与平次といい、

蘭秀子と号する。その生没は今くわしくしないが、没年は元禄の初年である。本屋の主人であるけれども併説の作者としても知られてゐるので『併説大辞典』にも「ジユウトク」として一項目たてられている人である。江戸時代の併説家は記した『説説家譜』や『説説家系図』にもその名はもちろん見える。伊藤信徳の門人である。

信徳は高瀬梅盛の門人、梅盛は松永貞徳の門人で七福仙の一人といわれた高足である。信徳も実ははじめは貞徳に従つてゐたのだが、貞徳が没したので梅盛に就いたのである。信徳は、その「徳」の字を貞徳にもらつたのである。重徳も、その「徳」の字を信徳にゆるされたものと見てよからう。とい

うことは重徳は信徳の有力な弟子であつたということになる。『家譜』には次のように記されている。
寺田氏。初ハ馬淵宗畔ノ門人たり。後、信徳に属ス。没年詳シカラズ。

重徳が馬淵宗畔の弟子であったことは『貞徳永代記』という書に

も見えている。宗畔という人は貞徳の早くからの門人で、貞徳の一

座する併説にも顔を見せている人であるが、のちに江戸に移った。

重徳はなむ、梅盛の門人である、

という説もある。この頃は必ずしもただ一人の師匠につくというこ

とはないから、信徳の師梅盛に重徳が直接師事することがあってもかまわないわけである。重徳の併説をまとめて左に掲げよう。

妹(いも)がりや暮(ひき)の鯨(なます)のいさぎよき
重徳
松永貞徳・馬淵宗畔
伊藤信徳・寺田重徳
高瀬梅盛

ついでに『大系図』の記載をも掲げておこう。
寺田氏。通称、詳ナラズ、(中略)家書・独吟集・続独吟集・ちりづか・新独吟集・花見辨慶等アリ。

『独吟集』は続集がつづいて出てこの店の有名な出版物だが『花見車』に載る『類船集』という書もこの店の有名な出版物である。これはしかし『花見車』にいうような重徳の著ではなく、高瀬梅盛の著である。『類船集』はこれまで行の林鴻撰『説説京羽二重』には『寺田重徳・寺町通二番上ル町』として次の発句が載っている。

『獨吟集』は続集がつづいて出

てこの店の有名な出版物だが『花

見車』に載る『類船集』という書もこの店の有名な出版物である。

これはしかし『花見車』にいうよ

うな重徳の著ではなく、高瀬梅盛

の著である。『類船集』はこれまで

梅盛者の『便船集』の増補版とい

うべき書で、併説の連句の付合(つけあい)の題材を『いろは順』

に掲出して、それと関係のある語句を列挙し、また、説明文を付した

ものである。延宝四年十二月の刊行。併説の付合を知る最も便利な書物である。現在でも併説研究者の必携書だから複製本も作られていて重宝なものである。また、日本人の連想のバーチャルを知ることができるから、日本人のメンタリティ

また重徳は和歌を慶安に学んだといふ。このことは彼の息、寺田友英が編んだ追悼集『寢覺之友』(元禄九年刊)に次のように記されている。

(元禄九年刊)に次のように記される。この書は併説の祖、荒木田守予が父、重徳、慶安ノ門葉たり。武にはじまり松永貞徳、雑屋立園、北村季吟・西山宗因(一幽)など十九人のすぐれた併説の独吟百韻の連句をあつめたもの。その後、この店は『続独吟集』・『新独吟集』・『続新独吟集』と寛文末年から延宝初年にかけて貞門・談林の代表的併説の独吟百韻を収録して出版し、併説書籍として名をあげた。これらの併説は重徳自身が板下(はんした)を書いたものである。

里の中道・忍ぶ通ひ路・桃さく谷・宇治里・竹より奥・鷹野・鷹狩・桜・楓・柘(つづけ)・山桜・蓼(たで)・竈城(ろうじやう)・張子・箱・神前・虎・猿・弓の稽古・盜人・乞食・雪・墓原・鳥部山・高野山・傍輩(はうばい)・初夜時分・物しらず・ねこまたあやしむ・九月・夜半二撞鐘・竹筒書・趙王(おう)・馬(たたり)寺ノ門・菖蒲谷・山伏・鎌倉・異国人

イを知るよい手がかりになる。一例に「犬」の項目をあげてみよう。

古本よもやま話
(六)

『菩多尼訶經』他の事

若林正治

刊行された『亀田鵬斎』を取次店

年にくなっている。早いものは、もう20年近くなる。その当時は私は、月に一、二回山科へ行っていた。余り商売にはならぬが本の好きな人、本のわかる人、殊に紙、日本の紙についてはとても精しく、よく判り易いからだ。

て下さつたがチラシの事は何も書いてなかつた。

御経の形をとった部外のものは余り無いのではないか。『金剛寿命陀羅尼經』と云うのはれつきと

した御経なのか、南天竺國三藏金剛智訳とあって色々版があるのは存じているが、「仏說療痔病經」と云うのはどうであろうか、之にも唐三藏法師を争うてこれらから印度

唐三藏法師義淨譯とあるから印度
から伝わったものか、御經で寺が
治るのか、色々な注意が書いてあ

るのか、手許には文化七年版と安政三年版とがある。

本草書の蒐集で有名であつた名古屋の村野時哉氏の蔵書売立が其

中堂氏の札元であつたのは昭和十五、六年時分ではなかつたか。押

切町の御自宅で入札があつた。昭和十一年に出版されている藏書目録で、私は二、三本、いちらの見当

鉢で種は二三粒のものを見当をつけていた。それは宇田川榕菴の『植学啓原』の初版本、附図の

菩薩樓、と云うのにその後お眼に
かかつた事がない。明治十二年伊

お経の様に唱えて勉強の足しにしたものであろう。

後抜一題生々堂塾経後一とあるから元題は或いは「生々堂塾經」とあつたのかも知れない。生々堂と云えば勿論かの「中神琴渙」に違いない。抜文の最後に、文化三年春、門人、淡島柏木慎とある。「医家人名辞書」に柏木なる名は見出せないが、今草津で医者を開業しておられる子孫の方と十年位前に、大阪の中野先生の医譚の会でお目にかかる事がある。琴渙の事を記したパンフレットを頬けて戴いたが、今一寸搜したが見当らない。但し琴渙の藏書は全て散逸しているとのお話をあつた。

生々堂医談、養生論、雑記の他に柱記に生々堂藏とある用紙に筆写した本も持っていた事があるがいつかの大市に売って仕舞つたと見え手許には見当らない。此の本の裏に昭和二十三年六月二十五日×××とあるのを見ると、大阪の古典会で金五十円で仕入れたものらしい。

未だ此等の他に經典に類似した体裁の本がいくつか出ている事でしょう、皆さんも注意して下さい。

● 記述

当時フランク・ホーリー氏宅は現在の山科の薬大の近く。
『金剛寿命陀羅尼經』・『療持病經』共に尋常の經典、前者は梵藏有り後者「持」の解釈現代と異る。

愛書家の眼

古本屋遊歩三十年

星宮智光

中学のころ、「あそこの本屋は値段が半分だ。」と、ある級友に教えられたのがきっかけで、古本屋さんには親しむようになって、いよいよ三十年有余になる。大学を卒えるころまで、自前で買った文学本などはほとんど古本屋からのものであつたし、テキストや参考書、語学習得のための文法書なども、みな古本であった。そのため清新しない印刷の芳香を楽しむ幸福には恵まれていなかつたかわりに、借りもなく書物に書きこみ、消耗する気は充分に味わつたように思う。そのせいか、わたしは新本を手にとると聖火女に突然出会った感じがして、いまだに一種緊張を感じないのである。古本は故い友人のような気がして無難作に振舞えて、かえつて読書の効もある

があつたが、値段をたしかめるにとどめた。しかし、百円均一コーナーのなかから面白い本を見つける楽しみは大いに享受している。

三宅雪嶺の『日本仏教史綱』や、著者は不明の『明治仏教遺難史話』等も百円コーナーで求めた珍書である。

地方を旅行するたびに、所用のほかに古本屋と私菓子屋を訪ねるのを楽しみにしている。購入することよりも、見ること、店頭の雰囲気がよい。とくにその地方独自の出版物にお目にかけられ、ばななうれしいというものだ。新潟では良寛についての出版物を沢山みた。

金沢では曉鳥敏の説教本や原田祖岳の揮毫録を見た。岡山では日蓮宗不施不受派の資料を見た。

江戸は谷中、笠森稻荷の鳥居横に、お仙は、本柳屋お藤葛屋お芳と共に、明和(一七六四

年)に火打石と七器にもられた「お仙団子」、店の柱に「お休み所、かぎや」の掛け燈が掛るなどを描かれて、お仙である事を知られるのである。

お仙には茶托や角盆でお茶を運んだり客と話したりする働く姿と、

草紙子を読んだり猫と戯れる等の

いくとした紙質の味と云うものは

何とも云われぬ良さのあるもので、あり、浮世絵版画の繊細な線と、華麗なる色彩を楽しむと共に、紙質の感触を味わってこそ、眞実の鑑賞が存在する。

島田つぶしの髪形、幼さが未だ残っている様なやさしい顔、纖細なわ、すらりと柳腰の女性の

わたしの古本屋遊歩は、おもに経済的理由によるが、しかしまたわたしにとって生涯学習の一つの有益な手段になつているようにも思ふ。このごろは、身体の運動不足を解消するために、よく古本屋街を歩きまわるが、とくに定つた目的もないせいか、ゆっくりと全書棚を見廻しているうちに、つい異なる領域の、またいろいろな趣味の書物を開くことになり。それがや、老化し、専門の陥路に陥りがちな頭には程よい刺激となる。

古本屋さんは、わたしにとっている。古本屋さんは、わたしにとっていまや知的運動場といつてもよい。

(聖母女学院 大原 太郎)

このごろ、自分の本棚を見まわして、すこしく淋しく思うことがある。実用一点ばかりで集められた

藏書というものは、なにか潤いに欠けるところがあるようだ。ほどんどが廉価版や普及版であるのも、

とにかく悔やまれる。全集物もみな必要部分だけである。こんな気分で、もう一度、古本屋遊歩に思いをめぐらすとき、それは、さらに無限の楽しみを準備しているようにもみえる。

かぎやの掛け燈の下に置かれた三玉の上の「お仙団子」とは、浮世絵辞典(吉田暁一著)によれば、「笠森稻荷に願を掛るには、まず上の团子を供え、願ほどきには米の粉の团子を取り替えたのであるが、その团子を稻荷前の茶見世で売っていた。その茶見世に居たのがお仙である為にかく呼ばれたのである」と書かれている。

この「お仙」の紙質は他の春信と同様に厚手の奉告であり、しなやかさの中にもきめ細かく、こじの強さをはつきり感じさせ、硬さと脆さは何處にも存在しない。

この「お仙」の紙質は他の春信

和本つれづれ

鈴木春信画

(一八・四×一・二・三)

江戸は谷中、笠森稻荷の鳥居横に、お仙は、本柳屋お藤葛屋お芳と共に、明和(一七六四

年)に火打石と七器にもられた「お

仙団子」、店の柱に「お休み所、か

ぎや」の掛け燈が掛るなどを描か

れて、お仙である事を知られるのである。

手に取つてながめる時の、ふく

お仙には茶托や角盆でお茶を運んだり客と話したりする働く姿と、

草紙子を読んだり猫と戯れる等の

いくとした紙質の味と云うものは

何とも云われぬ良さのあるもので、あり、浮世絵版画の繊細な線と、華麗なる色彩を楽しむと共に、紙質の感触を味わってこそ、眞実の鑑賞が存在する。

島田つぶしの髪形、幼さが未だ

残っている様なやさしい顔、纖細なわ、すらりと柳腰の女性の

稀観本を発見したり、掘り出し物に出会うという経験にもござつたとい、その機会に恵まれても、実用派のわたしには無縁である。天台学者大宝守脱の『十不二門指要鈔』と悉懃の手稿本を見たこと

が、九太町の店頭で、幕末の

ドネシアのバンドンの街の古本屋、

バンコックの漢籍専門店、ニューヨークのウイリントンの古本

屋、上海、南京の古書店等、いざれも上地柄を反映した商いかたで興味をそぐる。

島田つぶしの髪形、幼さが未だ

残っている様なやさしい顔、纖細なわ、すらりと柳腰の女性の



古本屋の眼

古書仕入れ隨想あれこれ

私が古書業界に入ったのは、昭和三十四年である。それは古書籍の仕事の面では全く何も知らないといった、いつてみれば無の状態からの出発であった。以来十八年、商品の仕入れは古物問屋廻りといふ方法を余儀なくされ、惰性も手伝って現在でもおよそ総仕入れの六〇%をこれに依存している。この古物問屋も数年前から紙交換方式による新しい問屋の成立によつてその様相は大きく変わった。そういった中で現在の私は特約という形で二、三の大きな問屋に出入りしている。古物問屋での仕入れでは、まず信用ということが問題になる。およそ商取引きの場合、これは欠かせない基本的なものである。ただこの信用の問題では、例えば銀行での商取引き、金融の場合には、銀行側はあくまで相手側の営業実績また資産状況といった客観的なものに判断の基準をおくが、古物問屋の場合には、これといしさか働きを異にしていて、信用度評価の基準をどれだけ人間的なつき合い（取引）が多かったか、たまたま入手した商品を高く買って貰ったとかいう主觀的な印象

象判断によって決めているようである。しばらく前のことであるが、取引きの殆んどなかつた、ある古物業者がかなりの優品を届物として持ち帰ったことがあった。そのなかには、おこと点書きの平家物語の写本二十四冊揃、奈良絵本等が含まれていた。かなり思い切った値を付けて交渉したが、相手は知合いの古本業者を呼べば二、三倍の値で買つてくれるだらうということであつた。そこで取引きは成立しなかつた。数日後、この商品をその古物業者から入手できたのだが、一度取引きが不成立に終つた場合、その商品を入手するということはきわめて稀有のことである。この例の場合、私が一度引き退つたあとで、数人の業者がその商品を入手すべく交渉にあたつたということである。信用度の問題がいかに重要であるかの一つの例証でもある。

古物問屋との取引きでは、この他にもいろいろの思い出がある。同業者が捨てた残本の中から北村門太郎の詩集蓬萊曲を発見入手したこともある。ただ古物問屋廻りの場合、利点

と同時に矛盾、弱点もあって、古書業者の一人として、その在り方の検討を絶えず迫られ、何とかしなければ、という思いも強い。ともあれ、客觀性を最大限に尊ぶべきである。

畠山慶雄

個人的な独り言

夜九時
今日も一日の仕事が終り
店の電灯を暗くして本棚の整理をする

客の読み散らかした本

ぞんざいに棚に突っ込まれた本など丁寧に整頓していくと薄暗がりの中からにわかに本が

語りかけてくるような幻想にかられる

いつまでも買手が付かず、ただ寂しそうにたたずんでいる本

定価以上に値付けられて

感張っている本

高い所に上げられ、埃を被つて

迷惑そうな本

本の顔、本の形は違つても

そう丁度飾り窓の女の如く

黙つて私に語りかけてくる

そして充実を操り返す

駆け出しの私が一番好きな時間

駆け出しの私が一番安らぐ時間

この夜の、静まり返つた店内

で私は感激し。

さあ、明日も又お前達の為に

店を開いてあげよう

だから

お休み

お休み

そつとお休み

こんな時、私は始めて本と対話

しそして思ひぬ安らぎを得る

事が出来る

この、時の流れが

誰にも荒される事なく

（小林隆雄）

思わぬ出費！

その様な時、御蔵書を手放したくない方は、どうぞ御利用下さい。

○定休日 毎月7日、17日、27日

○営業時間 午前10時半より午後7時迄

Z ENSHOD 0
本専門の質屋
善書堂

京都市上京区河原町今出川上ル TEL.231-7711



古書研だより

恒例 古本まつり大盛況

古書研主催の古本まつりを今年も十一月二十三・二十四日百万遍知恩寺で開催しました。まず古本供養で幕開け。皆さまから寄せられた不要本を前に法要、心の糧—書物に感謝しました。供養の本はチャリティーオークションに。女性や子供の黄色い声もとび交う中でつなぎつぎと新しい読書人の手に渡つてゆきました。今年初めて試みた入札コーナーも大人気でした。

一方境内参道では古書研会員店の青空古本市。暖かい好天の上に新聞、テレビの報道もあって昨年以上のすごい人出。各店用意した二万冊の本も飛ぶようになられ、とくに「百円均一」「お心持ち」のチャリティーコーナーの前は黒山の人ばかりでした。

来年も文化の日を中心恒例の行事として行ないます。古本市も内容を充実して企画しておりますのでご期待下さい。

チャリティー

純益金を寄贈

皆さまからいただいた不要本は古本まつりで供養のあとオーケーション入札、均一コーナーにわけて販売。その純益金は二十万円となりました。それを京都市立図書館

図書購入寄金として船橋京都市長に手渡しました。

供養に古本をご寄贈いただきました皆様に誌上を借りてお礼申しあげます。

市立図書館 社会教育総合センター・工事着々と進む!

市立図書館

工事着々と進む!

工事着々と進む!

私達京都市民待望の市立図書館（中央区聚楽廻松下町九一一・元中央市民病院跡）建築工事はほぼ基礎工事も終り昭和56年4月完成にむけて建物工事に入りました。

本日は準備室井上室長よりいただきました資料をもとに概要をお知らせ致します。

市立図書館は二階建二〇一五坪目標十二万冊（当初六万冊）その内訳は児童図書室一五〇〇〇冊・成人図書室二五〇〇〇冊・レファレンス室五〇〇〇冊・京都コーナー二〇〇〇冊・自動車文庫・団体文庫二〇〇〇冊・その他となる予定です。

同館の特長は社会教育総合センターの一部として設立されるところにあります。すなわち、大図書館ではとくに軽視されがちな児童図書や身近な地域文化を育む「身

近図書」の収集にあります。

「京都コーナー」もこのようないくらカラーの図版で見えていても現物とは全く趣きの違うものが多くあります。皆様もこういう機会を

大切に勉強になります（ほんの少しは運もあると思いますが）勉強というとやはり現物に触れられる事が一番大事ではないかと思いまます。特に古典籍や明治物等はい

くらの本で設けられます。既存の図書館にはすでに、伝統産業や歴史に関するものは十分に保有されていません。しかし京都を舞台とした文学作品や京都の作家達

の作品の体系的保有となるとまだまだです。そういう収集も考えて

いられるそうです。

又、とかく東の方にばかり片寄っていた文化設備が西の方に造られる事もうれしい事だと思います。

最後にレフアレンス室に付いて少しく述べておきます。

市立図書館は既存を含めて、今後10館設立される予定です。その間の情報交換や在庫図書の紹介など市民のニーズに応える為の二次文献などが収集されます。もちろん地方図書館の情報なども知る事ができます。

○問合せ先

社会教育総合センター準備室
電話〇七五一八二一五〇九二
市立図書館は二階建二〇一五坪
目標十二万冊（当初六万冊）その内訳は児童図書室一五〇〇〇冊・成人図書室二五〇〇〇冊・レファレンス室五〇〇〇冊・京都コーナー二〇〇〇冊・自動車文庫・団体文庫二〇〇〇冊・その他となる予定です。

同館の特長は社会教育総合センターの一部として設立されるところにあります。すなわち、大図書館ではとくに軽視されがちな児童図書や身近な地域文化を育む「身

近図書」の収集にあります。

「京都コーナー」もこのようないくらカラーの図版で見えていても現物とは全く趣きの違うものが多くあります。皆様もこういう機会を

古典会大市参覧記

定期購読継続

ご希望の方へ

毎年十一月に開催される東京古典会主催の公開下見太人会に心

はずませて出かけました。當日頃では見られなくなつた優品がたくさん出品されました。五月一日

経五出版、古活字版、江戸雀、絵本虫えらみ、成形図説（彩色）他計二千三百余。一般下見二日間

入札二日間（業者のみ）で行われました。

（京都二二二三三一京都古書研究会）を、ご利用下さい。

年間購読料二十四〇円（四回発行）申込単位 一年以上 年単位

送金方法 郵便振替……

一編集後記

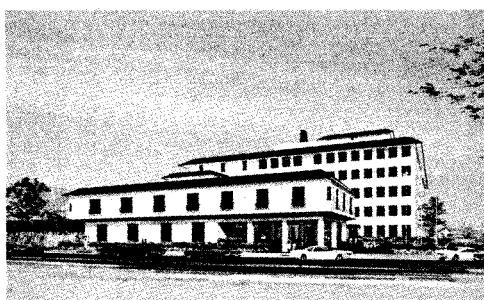
○早いもので「往来」も二つ目の正月を迎えるました。まだまだ未熟な愚兒ですが、皆様で育てて下さい。我々一同一層の努力を努力！！

お客様から注文を聞いた値段が落札値に倍ほども開きがある時はかえって諦めがつきますが、数百円、数十円の違いで取られた時はそれこそ一生忘れられません。

大変よい勉強になります（ほんの少しは運もあると思いますが）勉強というとやはり現物に触れられる事が一番大事ではないかと思いまます。特に古典籍や明治物等はい

くらの本で設けられます。既存の図書館にはすでに、伝統産業や歴史に関するものは十分に保有されています。しかし京都を舞

台とした文学作品や京都の作家達



一次号予告
『京古本や往来』第八号（春号）

は四月三十日発行の予定です

藤井 敦

外山 猛

小林隆雄

編集スタッフ

畠山慶雄 谷 隆夫

御注文は各書店へ

元
604

京都市中京
（朝日会館前）

卷之三

当店は、洋書・歴史・郷土史・民族・民俗・東洋・南洋・登山・探検書に力を入れて売買しております。
本号は南洋・東南アジア関係書を特集しました。

- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------|--------|
| 太太平洋に於ける経済的現勢 | 清水博 | 富士出版 | 昭 30 | 29 |
| 南方民族の生態 | 清野謙次 | 太太平洋協会 | 昭 17 | 16 |
| 熱帯の食品 | 山本亮 | 朝倉書店 | 昭 18 | 15 |
| (英)台湾誌 | G・L・マッケイ | （六六） | 六,000 | 一、二〇〇〇 |
| 台湾風俗誌 | 片岡敬 | 台湾日々新報 | 大 10 | 八,000 |
| 原著による台湾高砂族伝説集 | 台北帝大言語研究會 | 昭 42 | 三,000 | 六,000 |
| 南方民族の婚姻—高砂族の婚姻研究 | 増田福太郎 | （初版） | 昭 16 | 六,000 |
| 山と雲と蕃人と—台湾高山紀行 | 鹿野忠雄 | （初版） | 昭 11 | 六,000 |
| 台湾の蕃地開拓と蕃人 | 岩城亀彥 | 理蕃の友 | 昭 11 | 四,000 |
| （中文字）台湾高山族の人口遷移 | 中央研究院民族学研究所 | 元七 | 三,000 | 三,000 |
| （中文字）大港口の阿美族 | 元九 | 二,000 | 二,000 | 二,000 |
| 台湾宗教調査報告書 | （第一卷） | 大 8 | 一,500 | 一,500 |
| 獨台灣島衛生事情 | 高木 | （第二卷） | 大 10 | 一,000 |
| 台湾産毒蛇ノ毒素ニ就テノ血清学的比較研究 | （第三卷） | 大 10 | 一,000 | 一,000 |
| 台湾製糖株式会社史 | （第四卷） | 昭 14 | 一,000 | 一,000 |
| フィリピンの自然と民族 | 大西洋協会編 | 河出書房 | 昭 17 | 一,000 |
| フィリップン史 バロウス | 生活社 | （背補修） | 昭 17 | 一,000 |
| 北琉球の宗教と文化 | 三吉朋十 | 偕成社 | 昭 17 | 一,000 |
| フィリピンの國說 渡辺薰 | 富山房 | 昭 17 | 一,000 | 一,000 |
| 最新比律盤大地図付録圖 | 陳銘枢 | 昭 18 | 一,000 | 一,000 |
| 訂海南島志 付海南島の現況 | 松山房 | 昭 16 | 一,000 | 一,000 |
| 改訂海南島農業調査報告書 | 日本通商局編 | 昭 20 | 一,000 | 一,000 |
| 海南島農業調査報告書 | 日本農業協會 | 昭 15 | 一,000 | 一,000 |
| 華僑—その地位と保護に関する研究 | H・F・マックネヤ | 董雪書院 | 昭 15 | 一,000 |
| 仏領印度支那概観 | 成田節 | 昭 16 | 一,000 | 一,000 |
| 安南通史（地図共）岩村成充 | 富山房 | 昭 16 | 一,000 | 一,000 |
| 印度支那の原始文明 | 秋保 郎 | 海洋文化社 | 昭 17 | 一,000 |
| 印度支那の原始文明 | 秋保 郎 | 河出書房 | 昭 18 | 一,000 |
| 同慶御観地誌 | 東洋文庫 | （二冊嵌入）昭 18 | 一,000 | 一,000 |
| （英）シャム王国風俗誌 | ヤング | ロンドン刊 | 一五七 | 一,000 |
| 佛印概要—太平洋双書 | 秋保 郎 | 芸艸堂 | 昭 19 | 一,000 |
| 印度支那の原始文明 | 秋保 郎 | （昭19年） | 一五七 | 一,000 |
| 印度支那の原始文明 | 秋保 郎 | （昭19年） | 一五七 | 一,000 |
| 佛印農業論 | 松田延一 | 朝倉書房 | 昭 19 | 一,000 |
| マレーシア・シンガポール—経済と民族地理 | 大判 | （昭19年） | 一五七 | 一,000 |
| 蘭領東印度篇—南洋双書 | （英）仏蘭西文 | （昭19年） | 一五七 | 一,000 |
| 蘭印のお話—母と子の南方共栄園物語 | 主婦の友 | （昭19年） | 一五七 | 一,000 |
| 蘭印諸島—アルス文化双書 | 副島 種経 | （昭19年） | 一五七 | 一,000 |
| 蘭領印度支那大地図 | （英）仏蘭西文 | （昭19年） | 一五七 | 一,000 |
| 蘭領東印度地誌 | 大谷光瑞 | 有光社 | 昭 15 | 一,000 |

- | | | |
|--------------------------|------------|----------|
| 東印度群島地質論 | H·A·プラウワー | 昭16 |
| 蘭印の農業経済 | グレツツァー | 白楊社 昭16 |
| 蘭印植物紀行 | 台灣南方協会編 | 三省堂 昭16 |
| 未開人の政治と法律—民族選書 | 台灣南方協会編 | 三省堂 昭16 |
| 未開社会における法—法律学大系 | 杉浦健一 | 昭22 |
| ジャワ人種考 | D·ニエッサー | 東光出版 昭18 |
| ジャバの生活文化 | H·W·ボンター女史 | 昭25 |
| バリ島物語 | 杉浦健一 | 昭25 |
| ジャワ人種考 | E·C·ホーン | ロンドン刊 |
| ジャバの生活文化 | M·マクドナルド | 元英 |
| バリ島物語 | ヴィキ・バウム | 六、五〇〇〇 |
| ボルネオ民族 | 小倉清太郎 | 昭16 |
| ボルネオ紀行—その生活と資源を探る | 天理事報社 | 昭17 |
| ボルネオ事情 | 若林文次郎 | 天理事報社 |
| ニューギニアの自然と民族 | 太平洋協会編 | 昭18 |
| (英)タンバラン—ニューギニアの原始文化 | 龍吟社 | 昭17 |
| インドネシアの民族医学 | 太洋洋協会編 | 昭18 |
| インドネシアの婦人服装図録 | R·カルディ | 元英 |
| 猶太北東ニースギニアに於ける歴史的問題 | J·A·シングル | 五、五〇〇〇 |
| (英)インドネシアの婦人服装図録 | D·カーティ | 元英 |
| ヤップ島写真帖 | 元英 | 五、五〇〇〇 |
| 南洋群島の研究 | 天野代三郎商店 | 元英 |
| ソロモン諸島とその附近—地理と民族 | 太洋洋協会 | 昭18 |
| ニコバル島との住民 | 太洋洋協会編 | 元英 |
| 印度洋島誌 | 富山房 | 元英 |
| (英)南洋群島誌 | T·J·ウエアリムズ | 元英 |
| 印度の民族と生活 | ロンドン刊 | 元英 |
| (英)フィジーとその住民 | 大谷光瑞 | 元英 |
| 印度の分析 | 竹内雄 | 元英 |
| 印度海運史 | R·ムケルジ | 元英 |
| 新春特価セール | 太洋洋協会 | 昭18 |
| 國立探検の世界史 | 岩波書店 | 六、五〇〇〇 |
| ライフ人間世界史 | 太洋洋協会編 | 六、五〇〇〇 |
| 大世界史 | 太洋洋協会編 | 六、五〇〇〇 |
| 國立日本の歴史 | 太洋洋協会編 | 六、五〇〇〇 |
| 鶴翁未明治の歴史 | 太洋洋協会編 | 六、五〇〇〇 |
| 日本の伝説 | 太洋洋協会編 | 六、五〇〇〇 |
| 人間と科学 | 太洋洋協会編 | 六、五〇〇〇 |
| デラックスギャラリー世界の美術—名作鑑賞と美術史 | 太洋洋協会編 | 五、〇〇〇 |
| 日本全書 | 太洋洋協会編 | 五、〇〇〇 |

〒 606 京都市左京区浄土寺西田町八十一ノ四		法律・経済・思想	一 般 書 竹 岡 店
1 藤波先生追悼録	昭 31 10	2 故清野謙次先生記念論文集隨筆遺稿	昭 40 31
3 天野重安遺文集	昭 18 40	4 山梶子遺稿	昭 6 18
5 隨感録 濱口雄幸遺稿	昭 18 40	6 伝統	昭 39 13
7 政治学事典	昭 39 13	8 岩波 西洋人名辞典	昭 43 18
9 新訳世界教育名著叢書	昭 39 13	10 岩波講座 現代都市政策	昭 43 18
11 フリードリッヒ未来への旗	昭 39 13	12 岩波 西洋人名辞典	昭 43 18
13 スワイマーイー歴史としての現代	昭 39 13	14 スワイマーイー歴史とその時代	昭 43 18
15 ラスクオ 信仰・理性・文明	昭 39 13	16 ボーオワール 現代の反動思想	昭 43 18
17 デヴィドソン アフリカの目覚め	昭 39 13	18 クルマン キリストと時	昭 43 18
19 サマーウィル 平和の哲学	昭 39 13	20 オルボート 個人と宗教	昭 43 18
21 遠近精神分析観	昭 39 13	22 日本思想史	昭 43 18
23 ある社会科学者遍歴	昭 39 13	24 思想ヘーベル特集	昭 43 18
25 日本婚姻史論	昭 39 13	26 女性二千六百年史	昭 43 18
27 ソ連邦共産党史ベニヤ・ボーマリョウ監修	昭 39 13	28 共産主義の理論と批判	昭 43 18
29 ベリンケ イギリス労働組合運動史	昭 39 13	30 ファッシュム批判	昭 43 18
31 尾崎号堂全集	昭 39 13	32 ノーラズ グループタイナミックス入門	昭 44 2
33 リリー オートメーションと社会階級	昭 39 13	34 メイヤー 支那家族の構造	昭 44 2
34 社会の発展 鎮目恭夫訳	昭 39 13	35 ランク 中国の家族と社会① 小川修訳	昭 44 2
35 川辺喜三郎	昭 44 2	36 社会主義新批判	昭 44 2
36 松本潤一郎	昭 44 2	37 社会集団と社会階級	昭 44 2
37 清水盛光	昭 44 2	38 支那家族の構造	昭 44 2
38 羽仁五郎	昭 44 2	39 マキアベリ 君主論	昭 44 2
39 ジャンセン 日本における近代化の問題	昭 44 2	40 ラスキ フランスの政治理想	昭 44 2
40 前田康博訳	昭 44 2	41 メイヤー フランスの政治理想	昭 44 2
41 清水盛光	昭 44 2	42 クリック 政治の弁証	昭 44 2
42 前田康博訳	昭 44 2	43 ラスキ 近代国家における自由	昭 44 2
43 羽仁五郎	昭 44 2	44 リットン 報告書	昭 44 2
44 飯坂良明訳	昭 44 2	45 国際連盟支那調査委員会報告書全文	昭 44 2
45 吉田茂	昭 44 2	46 マッカーサーと吉田茂を斬る	昭 44 2
46 黒田 覚	昭 44 2	47 マッカーサーと吉田茂を斬る	昭 44 2
47 三枝茂智	昭 44 2	48 回想十年	昭 44 2
48 三枝茂智	昭 44 2	49 大磯隨筆	昭 44 2
49 馬場恒吾	昭 44 2	50 政界人物風景	昭 44 2
50 黒田 覚	昭 44 2	51 法窓夜話 正統(正統著)	昭 44 2
51 三枝茂智	昭 44 2	52 平等を求める心	昭 44 2
52 津村秀松	昭 44 2	53 一法学者の嘆息	昭 44 2
53 吉田 茂	昭 44 2	54 滝川幸辰一人	昭 44 2
54 滝川幸辰	昭 44 2	55 日本の過去現在及び将来	昭 44 2
55 滝川幸辰	昭 44 2	56 ヴィンダーフ法における常識	昭 44 2
56 未延・伊藤訳	昭 44 2	57 ブラバパンの権利	昭 44 2
57 伊藤正吾	昭 44 2	58 惠法と労働基本権	昭 44 2
58 沼田稻次郎	昭 44 2	59 改訂法哲学 現代哲学全集第17巻	昭 44 2
59 尾高雄	昭 44 2	60 美農部達吉	昭 44 2
60 人事管理と公務員	昭 44 2	61 ラスハイム 先史世界への熱情	昭 44 2
61 三宅太郎	昭 44 2	62 金剛院	昭 44 2
62 尾崎号堂全集	昭 44 2	63 金融大辞典 第123巻	昭 44 2
63 尾崎号堂全集	昭 44 2	64 日本銀行の機能と政策	昭 44 2
64 全12巻	昭 44 2	65 国家構造論	昭 44 2
65 尾崎号堂全集	昭 44 2	66 未来戦	昭 44 2
66 未来戦	昭 44 2	67 海軍廣瀬彦太	昭 44 2
67 尾崎号堂全集	昭 44 2	68 尾崎号堂全集	昭 44 2
68 尾崎号堂全集	昭 44 2	69 尾崎号堂全集	昭 44 2
69 尾崎号堂全集	昭 44 2	70 聖持東郷平八郎伝	昭 44 2
70 聖持東郷平八郎伝	昭 44 2	71 西郷南州先生	昭 44 2
71 西郷南州先生	昭 44 2	72 上山安敏	昭 44 2
72 上山安敏	昭 44 2	73 肥後和男	昭 44 2
73 肥後和男	昭 44 2	74 羅馬私法提要	昭 44 2
74 羅馬私法提要	昭 44 2	75 ナチス民法學の精神	昭 44 2
75 吾妻光俊	昭 44 2	76 民法演習	昭 44 2
76 民法演習	昭 44 2	77 新民法演習	昭 44 2
77 新民法演習	昭 44 2	78 日本人事訴訟法論第一二卷	昭 44 2
78 日本人事訴訟法論第一二卷	昭 44 2	79 株式会社法変遷論	昭 44 2
79 株式会社法変遷論	昭 44 2	80 同共海損の理論と実務	昭 44 2
80 同共海損の理論と実務	昭 44 2	81 戸張正胤(著者補)	昭 44 2
81 戸張正胤(著者補)	昭 44 2	82 サストン少年犯罪とその対策	昭 44 2
82 サストン少年犯罪とその対策	昭 44 2	83 宮崎清文訳	昭 44 2
83 宮崎清文訳	昭 44 2	84 オスボーン社会と監獄	昭 44 2
84 オスボーン社会と監獄	昭 44 2	85 大隅健一郎	昭 44 2
85 大隅健一郎	昭 44 2	86 谷口知平他編	昭 44 2
86 谷口知平他編	昭 44 2	87 上山安敏	昭 44 2
87 上山安敏	昭 44 2	88 エルサナ	昭 44 2
88 エルサナ	昭 44 2	89 クラッキン資本主義と農業問題	昭 44 2
89 クラッキン資本主義と農業問題	昭 44 2	90 ドーフ 政治経済学と資本主義	昭 44 2
90 中野正訓	昭 44 2	91 アントン 産業革命	昭 44 2
91 中野正訓	昭 44 2	92 資本主義の一般的危機	昭 44 2
92 松井 清	昭 44 2	93 ブラジル 移民実態調査報告	昭 44 2
93 橋爪直樹	昭 44 2	94 社会経済体系	昭 44 2
94 日本評論社(痛)全20巻	昭 44 2	95 勘定学説研究	昭 44 2
95 勘定学説研究	昭 44 2	96 日本銀行の機能と政策	昭 44 2
96 日本銀行の機能と政策	昭 44 2	97 金融大辞典 第123巻	昭 44 2
97 金融大辞典 第123巻	昭 44 2	98 日本銀行の機能と政策	昭 44 2
98 日本銀行の機能と政策	昭 44 2	99 日本銀行の機能と政策	昭 44 2
99 日本銀行の機能と政策	昭 44 2	100 日本銀行の機能と政策	昭 44 2

〒 530

大阪市北区芝田一丁目六番二号
阪急古書のまち

株臨川書店 大阪店

営業時間	午前十一時～午後八時	定休日	毎週水曜日
1 ギリシャ哲学研究	川田熊太郎	昭21	毎週水曜日
2 ギリシャの哲学(上・中)	山内得立	昭21	毎週水曜日
3 ツエラー・ギリシャ哲学史綱要	大谷長訳	昭30	毎週水曜日
4 ソクラテス以前	出降	昭22	毎週水曜日
5 ソクラテス	橋島政雄	昭22	毎週水曜日
6 プラトン エウチュデモス	山本光雄	昭22	毎週水曜日
7 プラトン プィレー・ボス	藤孝弟	昭22	毎週水曜日
8 プラトン プロタゴラス・メノン・クラチロス	岡田正三	昭17	毎週水曜日
9 バーネット プラトン 哲学	出隆	昭18	毎週水曜日
10 プラトン弁証法の研究	川田熊太郎	昭18	毎週水曜日
11 ブランデレス 詩学	松浦嘉一	昭18	毎週水曜日
12 ワインセーブラント	出隆	昭18	毎週水曜日
13 アリストテレス	青木敬	昭17	毎週水曜日
14 アリストテレス	高橋誠一郎	昭17	毎週水曜日
15 ヘラクレイオス附へ「ゲル及びツエラーの解釈	山本幹夫	昭17	毎週水曜日
16 ルパンデーブラント	波多野通敏	昭17	毎週水曜日
17 オリガネス研究	有賀鉄太郎	昭17	毎週水曜日
18 哲学体系構成の一途へプロティノス	解釈試論	昭17	毎週水曜日
19 デカルト研究	桑原武夫	昭17	毎週水曜日
20 アラン・デカルト	森 有正	昭17	毎週水曜日
21 ブトルウ・バスクル	桂 寿一	昭17	毎週水曜日
22 パスカル冥想録	森 有正	昭17	毎週水曜日
23 スピノザの哲学	佐藤慶二	昭17	毎週水曜日
24 情性改善論・倫理学(スピノザ全集)	高橋里美	昭17	毎週水曜日
25 カント啓蒙とは何ぞや	天野貞祐	昭17	毎週水曜日
26 ナトル・カントとマールブルク学派	宮崎武雄	昭17	毎週水曜日
27 ハイデッガー	杉村広藏	昭17	毎週水曜日
28 カント(近代精神叢書)	昭17	毎週水曜日	二、四、六、五、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一
29 得能博士還暦記念哲学論文集	昭17	毎週水曜日	二、四、六、五、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一
30 歴史存在論の研究	昭17	毎週水曜日	二、四、六、五、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一
31 人間カント	加藤将之	昭17	毎週水曜日
32 カントの生涯と性格	山本英一	昭17	毎週水曜日
33 カントの日常生活	竹田寿恵雄	昭17	毎週水曜日
34 カント研究	宮本和吉	昭17	毎週水曜日
35 新訂改版 カントの哲学	吉岡佐太郎	昭17	毎週水曜日
36 カントの哲学	波多野鼎	昭17	毎週水曜日
37 カント研究	吉岡佐太郎	昭17	毎週水曜日
38 カントとドイツ観念論	岩崎武雄	昭17	毎週水曜日
39 カント難考	桑木巖翼	昭17	毎週水曜日
40 カント学派	高坂正顕	昭17	毎週水曜日
41 新カント学派の教育説	勝部謙造	昭17	毎週水曜日
42 カントの後史哲学	米田庄太郎	昭17	毎週水曜日
43 カントに於ける哲学の概念	山口諭助	昭17	毎週水曜日
44 カント解釈の問題	高坂正顕	昭17	毎週水曜日
45 カント認識論の研究	小塚新一郎	二冊	毎週水曜日
46 カント批判哲学の構造	三渡幸雄	二冊	毎週水曜日
47 カントの実践哲学	安部能成	二冊	毎週水曜日
48 カントの数学論の範囲に於て	児玉達童	二冊	毎週水曜日
49 「判断力批判」の研究	川村豊郎	二冊	毎週水曜日
50 カントの数学論の範囲に於て	高見沢栄寿	二冊	毎週水曜日
51 カントの数学論の範囲に於て	直井武夫	二冊	毎週水曜日
52 クローチェー「ヘーゲル哲学批判	高見沢栄寿	二冊	毎週水曜日
53 クローチェー「ヘーゲル学派史	土方定一	二冊	毎週水曜日
54 クローチェー「ヘーゲル精神哲学概要	田村実	二冊	毎週水曜日
55 クローチェー「ヘーゲル復興」と新へ「ヘーゲル主義	大江精志郎	二冊	毎週水曜日
56 シェルヒェン「ヘーゲル精神哲学概要	大江精志郎	二冊	毎週水曜日
57 レイバイン「エーゲル哲学概説	鈴木三郎	二冊	毎週水曜日
58 マルック「ヘーゲル主義とマルクス主義	鈴木三郎	二冊	毎週水曜日
59 ジャイアル「青年時代のヘーゲル	奈良岡茂雄	二冊	毎週水曜日
60 ジャイアル「青年時代のヘーゲル復興	甘粕石介	二冊	毎週水曜日
61 ジャイアル「青年時代のヘーゲル復興	佐々木隆彦	二冊	毎週水曜日
62 ハーバート・マールブルク学派	鈴木権三郎	二冊	毎週水曜日
63 ハーバート・マールブルク学派	甘粕石介	二冊	毎週水曜日
64 ハーバート・マールブルク学派	橘高倫一	二冊	毎週水曜日
65 ハーバート・マールブルク学派	高橋敬視	二冊	毎週水曜日
66 ハーバート・マールブルク学派	栗林茂	二冊	毎週水曜日
67 ハーバート・マールブルク学派	勝部謙造	二冊	毎週水曜日
68 ハーバート・マールブルク学派	川村安太郎	二冊	毎週水曜日
69 ハーバート・マールブルク学派	昭4	毎週水曜日	二、四、六、五、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一
70 ハーバート・マールブルク学派	昭4	毎週水曜日	二、四、六、五、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一
71 ハーバート・マールブルク学派	昭4	毎週水曜日	二、四、六、五、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一
72 シェーラー「哲学的境界觀」	寺島仁	昭4	毎週水曜日
73 シェーラー「哲学的境界觀」	波多野鼎	昭4	毎週水曜日
74 クロッチエ「ヘーゲルの哲学に於ける生あるものと死せるもの	吉岡佐太郎	昭4	毎週水曜日
75 クロッチエ「ヘーゲルの哲学に於ける生あるものと死せるもの	相馬春雄他	昭4	毎週水曜日
76 フォルクナー「現象学」	高橋里美	昭4	毎週水曜日
77 ニイチエ「現象学」	信太正三	昭4	毎週水曜日
78 ハイデッカー「存在学」	鬼頭英一	昭4	毎週水曜日
79 ハイデッカー「存在と時間」	寺島仁	二冊	毎週水曜日
80 ハイデッカー「存在と時間」	高橋里美	二冊	毎週水曜日
81 ハイデッcker「存在と時間」	寺島仁	二冊	毎週水曜日
82 ハイデッcker「存在と時間」	高橋里美	二冊	毎週水曜日
83 ハイデッcker「存在と時間」	寺島仁	二冊	毎週水曜日
84 ハイデッcker「存在と時間」	高橋里美	二冊	毎週水曜日
85 ハイデッcker「存在と時間」	寺島仁	二冊	毎週水曜日
86 ハイデッcker「存在と時間」	高橋里美	二冊	毎週水曜日
87 ハウグスティヌス「ヘーゲル」	鹿野治助	二冊	毎週水曜日
88 ハウグスティヌス「ヘーゲル」	松村克己	二冊	毎週水曜日
89 ハウグスティヌス「ヘーゲル」	高橋里美	二冊	毎週水曜日
90 ハウグスティヌス「ヘーゲル」	佐藤省三	二冊	毎週水曜日
91 ハウグスティヌス「ヘーゲル」	岩下壯一	二冊	毎週水曜日
92 フラン西「唯物論」	沢瀉久敬	二冊	毎週水曜日
93 近世英國哲學史	杉捷夫	二冊	毎週水曜日
94 「統思素と体験」以後	大島正徳	二冊	毎週水曜日
95 哲學概論	大島正徳	二冊	毎週水曜日
96 西田哲學	西田幾多郎	二冊	毎週水曜日
97 西田哲學の根本問題	高山岩男	二冊	毎週水曜日
98 西田幾太郎先生の生涯と思想	滝沢克己	二冊	毎週水曜日
99 哲學入門	田辺元	二冊	毎週水曜日
100 構思力の論理	三木清	二冊	毎週水曜日
101 得能博士還暦記念哲學論文集	西田幾多郎	二冊	毎週水曜日
102 全體の立場	西田幾多郎	二冊	毎週水曜日
103 包弁証法	西田幾多郎	二冊	毎週水曜日
104 歴史存在論の研究	西田幾多郎	二冊	毎週水曜日
105 歴史存在論の研究	西田幾多郎	二冊	毎週水曜日

ウッド表象の内容と対象

御注文は各書店へ

(12)

〒602 京都市上京区河原町今出川上ル

本専門の質屋・買入
英語・英米文学研究書専門 株式会社 善書堂

電話 (〇七五) 二三一—七七一

日本歴史大辞典 河出書房 昭49 捕三冊 七九、〇〇〇
今回サービス品

1 ニベルン基礎の研究 雪山俊夫 大岡山書店 昭9 二六、〇〇〇
2 片影 矢野峰人 研究社 昭6 二三、〇〇〇
3 ロバート・ブラウニング共著 理想社 昭6 二四、〇〇〇
4 雙龍硯 平田禎木 七文書院 昭7 二〇、〇〇〇
5 現代文学における花の研究 石川林四郎 研究社 大13 二〇、〇〇〇
6 英国の恋愛と結婚風俗の研究 石田憲次 加藤東知昭 二〇、〇〇〇
7 英国自然美文学の研究 金子健二 泰文堂 昭3 二〇、〇〇〇
8 失乐园の詩的形而上学 岩橋武夫 言文堂刊行会 昭8 二〇、〇〇〇
9 基督教的文学觀 石田憲次 研究社 昭7 二〇、〇〇〇
10 バーナード・シヨオ真體 石田憲次 泰文堂 昭8 二〇、〇〇〇
11 ジョンソン博士とその群 石田憲次 研究社 昭8 二〇、〇〇〇
12 近代英文学史 矢野峰人 第一書房 昭4 二〇、〇〇〇
13 英語発達史 金子健二 細江逸記 昭4 二〇、〇〇〇
14 英語発達史 ウィーライ著久野朔郎譯 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
15 ディオナ・エリックトの英國中部地方語の研究 佐藤正雄 泰文堂 昭7 二〇、〇〇〇
16 動詞叙法の研究 イエスカルセン言語 市保格著 神保堂 昭7 二〇、〇〇〇
17 動詞及び動詞の前置詞の講義 斎藤秀三郎 健文社 昭5 二〇、〇〇〇
18 実験英語音聲学 金子健一 東京堂 昭7 二〇、〇〇〇
19 ディオナ・エリックトの英國中部地方語の研究 前田太郎譯 泰文堂 昭5 二〇、〇〇〇
20 文體論—方法と問題 ジョンソン博士著 山本忠雄 賢文館 昭7 二〇、〇〇〇
21 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
22 言語と国際語 イエスカルセン人類と言語 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
23 文體論—比較言語学 ゼン教授法新論 金子健一 泰文堂 昭7 二〇、〇〇〇
24 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
25 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
26 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
27 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
28 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
29 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
30 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
31 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
32 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇
33 文體論—比較言語学 イエスカルセン言語の生長と構造 井原星文館 昭7 二〇、〇〇〇

〒602 京都市上京区今出川通寺町西入

藤原北御所書房

電話 (〇七五) 二四一—五九八

1 北極探検 欧羅巴の七つの謎 ジュール・ロマン 昭5 一、〇〇〇
2 ナアシッサス号の黒奴 コンラッド・メ窪満亮訳 昭16 二、〇〇〇
3 鯨を追つて 見返切 小林武鉄 昭16 二、〇〇〇
4 セドーフ号の北極探検 アラスカ探検記 少暇 ジョーン・ミューイア 昭5 一、〇〇〇
5 あらすか物語 祥瑞專一 昭17 二、〇〇〇
6 北極と南極 大氷河を行く(チリ・パタゴニヤ) 田中薰 昭17 一、〇〇〇
7 謎の大陸(南極探検物語) フーアト・佐藤清郎訳 昭33 三、〇〇〇
8 北極探検 大氷河を行く(チリ・パタゴニヤ) 田中薰 昭33 一、〇〇〇
9 北極探検 大氷河を行く(チリ・パタゴニヤ) 田中薰 昭33 一、〇〇〇
10 北極探検 大河を行く(チリ・パタゴニヤ) 田中薰 昭33 一、〇〇〇
11 北極探検 大氷河を行く(チリ・パタゴニヤ) 田中薰 昭33 一、〇〇〇
12 北極探検 大氷河を行く(チリ・パタゴニヤ) 田中薰 昭33 一、〇〇〇
13 北極探検 大氷河を行く(チリ・パタゴニヤ) 田中薰 昭33 一、〇〇〇
14 K.O.B.E.とその附近 兵庫穀物語 神戸穀物商品取引所 昭14 一、〇〇〇
15 神戸穀物語 神戸穀物商品取引所 昭14 一、〇〇〇
16 神戸経済同友二十年 神戸貿易協会史(百年の歩み) 神戸経済同友二十年 神戸経済同友二十年 一、〇〇〇
17 神戸経済同友二十年 神戸経済同友二十年 一、〇〇〇
18 神戸経済同友二十年 神戸経済同友二十年 一、〇〇〇
19 神戸経済同友二十年 神戸経済同友二十年 一、〇〇〇
20 神戸経済同友二十年 神戸経済同友二十年 一、〇〇〇
21 神戸経済同友二十年 神戸経済同友二十年 一、〇〇〇
22 日本書紀 千葉義恵 昭14 一、〇〇〇
23 日本書紀 千葉義恵 昭14 一、〇〇〇
24 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
25 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
26 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
27 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
28 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
29 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
30 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
31 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
32 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
33 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
34 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
35 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
36 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
37 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
38 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
39 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
40 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
41 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
42 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
43 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
44 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
45 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
46 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
47 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
48 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
49 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
50 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
51 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
52 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
53 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
54 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
55 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
56 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
57 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
58 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
59 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
60 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
61 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
62 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
63 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
64 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
65 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
66 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
67 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
68 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
69 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
70 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
71 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
72 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
73 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
74 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
75 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
76 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
77 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
78 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
79 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
80 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
81 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
82 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
83 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
84 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
85 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
86 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
87 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
88 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
89 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
90 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
91 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
92 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
93 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
94 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
95 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
96 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
97 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
98 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
99 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
100 美の傳統 甘味の歌集 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル 同志社正門前

振替 田書店 店

電話 (〇七五) 四五一—〇五二三 一九一四八

602

1 新撰京都名勝図会 竹村俊則 帯付七冊揃 昭41 三、〇〇〇
2 アンドレ・ワルトルの詩 新作新譜 真作新譜 限定署名入 昭53 八、〇〇〇
3 不謹慎な宝石 小チイ子 林武鉄 初版 昭23 一、〇〇〇
4 日本小説代表作全集 小山書店 自昭一十五年(一卷)二十卷 六、〇〇〇
5 年刊創作傑作集 日本文藝会編 第一輯 初版 昭22 一、〇〇〇
6 日本小説集 文芸家協会編 第四集 初版 昭3 一、〇〇〇
7 小説の構成 川端康成 初版 昭21 一、〇〇〇
8 神戸物語 神戸市立博物館 神戸市立博物館 初版 昭39 二、〇〇〇
9 あるところの歴史 住谷栄治 限定版 昭43 二、〇〇〇
10 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭22 一、〇〇〇
11 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
12 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
13 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
14 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
15 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
16 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
17 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
18 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
19 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
20 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
21 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
22 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
23 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
24 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
25 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
26 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
27 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
28 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
29 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
30 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
31 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
32 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
33 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
34 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
35 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
36 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
37 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
38 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
39 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
40 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
41 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
42 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
43 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
44 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
45 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
46 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
47 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
48 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
49 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
50 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
51 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
52 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
53 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
54 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
55 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
56 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
57 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
58 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
59 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
60 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
61 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
62 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
63 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
64 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
65 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
66 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
67 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
68 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
69 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
70 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
71 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
72 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
73 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
74 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
75 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
76 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
77 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
78 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
79 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
80 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
81 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
82 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
83 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
84 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
85 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
86 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
87 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
88 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
89 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
90 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
91 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
92 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
93 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
94 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
95 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
96 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
97 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
98 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇
99 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭40 二、〇〇〇
100 丹波の日記 井上日召 初版帯付 昭21 一、〇〇〇

602

京都市上京区河原町今出川上ル

同志社正門前

田書店

電話 (〇七五) 四五一—〇五二三 一九一四八

店

店

店

店

店

店

店

店

〒 604 中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

電話(075) 811-13890

1 橋本関雪先生筆忍耐は金(金袋)因清林和尚贊一幅	合、900
2 浦上玉堂筆 書翰一通	三、000
3 歌舞伎25氏修行之氣色舞台の心得一巻初欠	文久2
4 桐津灘五郷清酒石高調査表	明治3
5 新東京全図附電車線路入	明治40
6 明治初期神戸地図草稿地名未記入	明治17
7 北京遊覧案内地図入	明治11
8 国立道路公團期成同盟会趣意書併會員名簿会報	大正13
9 紙林詩裁紙林聯芳 金龍道人撰虫入	宝曆12
10 色紙 室生犀星先生 紅梅之句	明治10
11 小学必読県令告諭書 滋賀新聞社刊	明治6
12 京都府下人民告諭大意	明治2
13 夜半亭選 安井金比羅泰額発句集 肉筆	明治13
14 出典諸事覚帳(仏家)大虫入汚 写本	明治14
15 探荷集5編 山花牛心著 奥付破れ	明治15
16 大徳寺宝和尚筆 一幅	明治16
17 肉筆 狂俳句集	明治17
18 短冊 尾崎紅葉 はつ冬や	八冊
19 灌頂唱礼 南院覺意写本	刊本
20 弘法大師口伝集	写本
21 不動法大勢至法次第書	写本
22 大毗盧遮那成仏神変加持絆 虫入	写本
23 敦煌天華本供次第私記	写本
24 六道講式	元禄3
25 日天、水天、閻摩天作法	江戸末
26 欲喜天華本供次第私記	江戸末
27 土砂加持法則 龍禪写本	天保10
28 胎藏界念誦次第 淳敬房私記	大正2
29 大隨求陀羅尼 定光写本	明治38
30 直念誦次弟 淳教写本	江戸末
31 摩利支天秘法 正福寺義運写本	江戸末
32 不動護摩供次弟私記 東寛寺写本	江戸末
33 青面金剛法 伝屍病修之如常寫本	江戸末

34 麗沙門法 快忍写本	江戸末
35 雜記無始明厚薄筆記 弘善写本	明治
36 地蔵法 写本 大虫入 元文5	文政12
37 発句千題集秋之部 物集高見編 上下2冊	文久2
38 新註皇學叢書第12卷 物集高見編	明治3
39 片岡翁小伝(福知山) 中島錦三郎編 下2冊	明治3
40 枇杷園土朗七部集 文化7	明治20
41 狂俳冠附稚の志斗梨 雙羽撰 絵入	明治40
42 俳諧新花集下巻 九起撰	明治4
43 金島桂華先生筆亦かぶら白ねづみ図	昭和3
44 日露の戦聞書 宇野千代	昭和3
45 色紙 金島桂華先生筆亦かぶら白ねづみ図	昭和3
46 現代哲學辭典 三木清 カバ一欠	昭和3
47 罪の季節 大森忠行第一詩集	昭和2
48 慶應義塾創立75年記念論文集 三田学会雑誌 昭和7	昭和27
49 図案の研究 佐武村藏 汚箱欠 昭和9	昭和13
50 アーサー・グレイ著 レッスンインボオタニ一汚 昭和8	昭和13
51 策府 上下2冊 山県谷兩中将校閱 昭和12	昭和27
52 半球周遊 杉村楚人冠 初版 汚傷 昭和7	昭和19
53 東奥日報と明治時代 青森市 前田玄以著書状 昭和13	昭和19
54 大學基準協会10年史 佐武村藏 汚箱欠 昭和9	昭和19
55 丹後史料叢書第5輯 非売品 昭和13	昭和19
56 西色概論 浜八百彦 昭和33	昭和19
57 西邦南州 合本 伊藤痴遊 初版傷汚 昭和33	昭和19
58 バゴダスイン SUNRISE LAND 英文秋山 昭和33	昭和19
59 現代の代表的哲学 理想特輯号 佐々木降彦編 昭和9	昭和19
60 東亞経済年報 東亜共榮園の推進号 昭和42	昭和19
61 蔡琰大觀 奥付欠 昭和40	昭和19
62 椿御前 太田三次郎訳 初版傷汚 昭和3	昭和19
63 横井時雄訳 傷汚 昭和3	昭和19
64 ナチス民法学の精神 吾妻光俊 初版傷汚 昭和39	昭和19
65 ロ馬書講解 ラル子著 背傷 昭和17	昭和19
66 実驗柔道整復術学 白谷利一 初版傷汚 昭和17	昭和19
67 鉄斎先生筆 草稿一幅 奉先供養併百練字 昭和17	昭和19
68 楠公墓碑 拓本 一幅 篠崎小竹 昭和17	昭和19
69 教育学精義 森岡常蔵 昭和17	昭和19
70 現代算術教育大観 稲次中野外共著 昭和17	昭和19
71 新約聖書加路登 太田三次郎訳 初版傷汚 昭和17	昭和19
72 計算問題叢書57891112答式共静岡算学社撰 昭和17	昭和19
73 花乃井集 春夏集 有節撰 昭和17	昭和19

74 宮比神御伝記 石川篤記	江戸末
75 希列私解解剖図譜 中鉄述(國久)	陸軍文庫 明治5
76 皇典文彙 上中下3冊 篤胤	文政12
77 竹窓隨筆 6冊摘要 龍源寺蔵印 虫入 承応2	文政12
78 書法提帳 武家として心得べき書法	慶応元
79 明良算法記 若山竹三郎	明治23
80 稲生物怪錄 篤胤序併写本 柏正甫著	文政8
81 示方之観 村人心得べき捷書 一巻	文化元
82 大坪流百簡手綱目録 一巻(馬術)	江戸末
83 奉行人請狀之事 給金三箇御定(大阪宮沢)一紙	明元
84 農家小学読本附気象問答 初篇中川重麗	明治14
85 八橋先茶禪翁筆茶詩一幅 福岡の人江戸煎茶相	明治14
86 山元春舉筆 梅にうぐいすの図 一幅 小傷	明治14
87 前田玄以著書状 一幅 当山の松茸進上云々大正頃	明治14
88 松花堂昭乘筆 布袋画賛 一幅 折傷有	明治14
89 鴻雪翁筆詩書 一幅	明治14
90 前田齊泰公筆(元金沢城主)寒梅開之詩 一幅 しみ有	明治14
91 島津齐彬公筆 短冊 下段鮫島氏色紙 一幅	明治14
92 武塙秋香筆 長文 大幅	明治14
93 心越禪師筆 菊画賛 一幅	明治14
94 平福百穗先生筆 バラ之図 一幅	明治14
95 古坂拓本一幅 東京志賀都東寺豊臣館大仏殿等 一幅	明治14
96 天信山伝 一幅	明治14
97 信天翁山中静逸筆 秋景七絶大幅 一幅	明治14
98 古谷一晁筆 はまぐりに筆之図 一幅	明治14
99 康熙字典 40冊揃 箱入ふた欠 一幅	明治14
100 鉄斎先生筆 草稿一幅 篠崎小竹 一幅	明治14
101 楠公墓碑 拓本 一幅 斎藤華山椿山展明14	明治14
102 古谷一晁筆 はまぐりに筆之図 一幅	明治14
103 鉄斎先生筆 草稿一幅 奉先供養併百練字 一幅	明治14
104 江戸期農村収入札風俗圖繪被めぐり 一幅	明治14
105 備守中書状 一幅 稲松草山云々宗家死 天正頃	明治14
106 黄檗來風筆 竹之図 一幅(大鵬に隨て帰化僧)	明治14
107 名古屋俳人井上士朗筆句人書翰 一幅 正月22日	明治14
108 泊如斉重宣和博古圖7冊 一枚欠不揃中國古版	明治14
109 小林卓翁筆(号大觀) 麗然無聖 一行二幅	明治14
110 大かう様書状 一幅	明治14
111 大師流入本道正統45世84翁北泉筆六體書6冊折帳 一冊	明治14

600

藤井文政堂

〒603 京都市北区小山下内河原町六三

古書籍 東方書店

電話(〇七五)四九一—三〇七一

創立四十周年誌 大阪府立市岡中学校
尋六年級經營の實際 香取良範 文部省体育研究所

奈良女子大学六十年史 奈良女子大学 教授資料

世界数学史

松本孝次郎

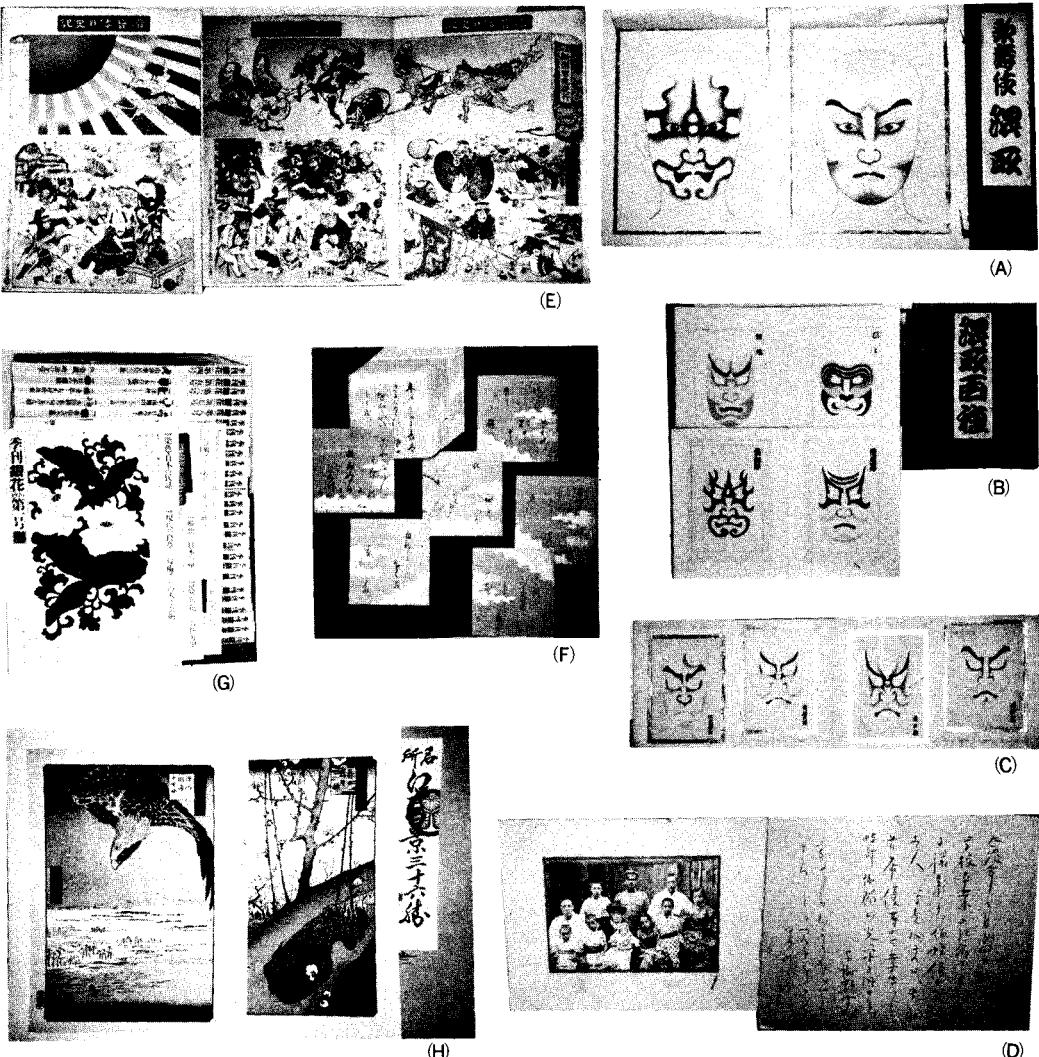
昭2

〒606
京都市左京区北白川久保田町64の5

外山書店

5	4	日本絹人絹織物史	ブルーノ・ハウト・日本の家庭と生活	吉田・篠田訳	昭25	昭5	一、二〇〇〇
6	2	山川均著作掲載雑誌	文殊院の研究・附録文殊院由来書	泉屋義考	昭26	昭25	五、〇〇〇
7	3	フランス唯物論	文殊院の研究・附録文殊院由来書	泉屋義考	昭26	昭25	四、〇〇〇
8	2	日本寺領庄園経済史(改巻本)	秋と東漁抄附錦弊革化同3軒	昭27	昭26	三、五〇〇	
9	3	徳川時代の賄賂秘史(改巻本)	細川龟市	昭7	昭6	四、八〇〇	
10	5	徳川時代の賄賂秘史(改巻本)	中瀬太郎	昭10	昭9	三、八〇〇	
11	1	五・一五事件陸海軍公判記	伊藤秀一訳	昭25	昭24	二、〇〇〇	
12	1	五・一五から二・二六まで社会評論編輯部	同大	昭10	昭9	二、〇〇〇	
13	1	真相を訴えるソ連帰還者生活擁護同盟文化部編	同大	昭24	昭23	一、八〇〇	
14	1	ソヴェト支那の成長	アロレックリヤ科瓦采等著	昭5	昭4	一、八〇〇	
15	1	レーニン選集 完本全二冊	伊藤秀一訳	昭25	昭24	一、八〇〇	
16	1	同志社ラグビー蹴球部創立25周年記念誌	同大	昭51	昭50	一、八〇〇	
17	1	同志社創立100周年体育会記念写真集	同大	昭50	昭49	一、八〇〇	
18	1	旅の時間 同志社の100年のあゆみ	同大	昭50	昭49	一、八〇〇	
19	1	昨日の旅	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
20	1	孤高伝統を守る人と技と	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
21	1	あの日この日 上	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
22	1	海舟語録	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
23	1	アメリカ人の日本論	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
24	1	作文新辞林	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
25	1	家屋建築坪曲速成図解	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
26	1	和洋建築大匠早割秘伝	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
27	1	工匠必携技術之魁	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
28	1	鉄道省日本案内記	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
29	1	安芸号発車	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
30	1	温泉と旅の計画事典	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
31	1	富士山麓郷愁の民俗	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
32	1	古都祭曆	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
33	1	花の里花の旅	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
34	1	正統 文原田雅吉・写真藤沢健一	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
35	1	新訂版 日本旅行研究会	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
36	1	伊藤堅吉	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
37	1	北條秀司	吉田健一	昭50	昭49	一、八〇〇	
38	1	昭44	昭43	昭33	昭23	一、八〇〇	

35	34	山に生きる 神がかり——民俗写真集——フォーカロードの眼——	竹節作太 昭22
萩原秀三郎 昭52	中俣正義 昭52	雪国と暮らし——同右2——	36
須藤 功 昭52	菅原道彦 昭52	運ぶ——同右3——	37
諸田森二 昭52	吉田智一 昭52	子ども組——同右4——	38
三、000	三、000	獅子の平野——同右5——	39
三、000	三、000	田の神まつり——同右6——	40
三、000	三、000	海の暮らしと祭り——同右7——	41
三、000	三、000	よみがえり——同右8——	42
芳賀日出男 昭52	鶴添泰蔵 昭52	花祭り——同右9——	43
三、000	三、000	靈を招く——韓国のシャーマン——同右10——	44
三、000	三、000	金泰坤・池春相・玄容駿 昭52	45
家永三郎 昭40	新保守義 昭35	民主主義——現代日本思想大系3——	45
一、0000	一、0000	ナショナリズム——同右4——	46
吉本隆明 昭39	科学の思想1 昭35	権力の思想——同右10——	47
一、0000	一、0000	実業の思想——同右11——	48
神島二郎 昭40	歴史の思想——同右17——	ヒューマニズム——同右35——	49
一、0000	一、0000	小田切秀雄 昭39	50
多田道太郎 昭40	新保守主義——同右18——	井上健 昭39	51
一、0000	近日本画の巨峰竹内栖鳳展——同右25——	桑原武夫 昭40	52
一、0000	京都画壇の巨匠 鎌木清方展——同右27——	益田勝実 昭39	53
一、0000	平橋田中展——同右30——	林健太郎 昭38	54
一、0000	福田平八郎遺作展——同右35——	一、0000	55
一、0000	岸田劉生展——同右55——	一、0000	56
一、0000	東山魁夷画伯唐招提寺障壁画——同右55——	一、0000	57
一、0000	村上華岳展——同右55——	一、0000	58
一、0000	塚田重明新作個展——同右55——	一、0000	59
一、0000	山口薰展——同右55——	一、0000	60
一、0000	浜田庄司自選展——同右55——	一、0000	61
一、0000	西村計雄自選集——同右55——	一、0000	62
一、0000	皆川月華染彩新作展——同右55——	一、0000	63
一、0000	高島屋昭52	銀座美術館 昭49	64
一、0000	高島屋昭49	三条祇園画廊 昭48	65
一、0000	高島屋昭50	大丸昭48	66
一、0000	高島屋昭47	太坂・三越昭47	67
一、0000	高島屋昭46	祇園画廊 昭46	68
一、0000	高島屋昭45	京都新聞社 昭45	69
一、0000	高島屋昭44	第一回京都同時代展 昭44	70
一、0000	高島屋昭43	巨匠が描いた日本画のなかの女性展 昭43	71
一、0000	高島屋昭42	美と歌舞伎展 昭42	72
一、0000	高島屋昭41	阿国から三百七十年 昭41	73
一、0000	高島屋昭40	ワイン・国立工芸美術館所蔵浮世絵品展 昭40	74



〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

書肆 大 堂

電話 (075) 221-10685
振替 京都 三一六五

A 歌舞伎隅取 市川十郎・太田雅光筆 一帳 一五,000
B 歌川風隣取百図 橋本團解説文 彩色木版摺七二圖 一帳 一五,000
C 歌舞伎百番隅取集 彩色木版百図 一帳 一五,000
D 与謝野鉄幹・昌子家族写真 台紙裏面 (鉄幹のモノモ 藤翠 畫) 一帳 一五,000
E 滑稽倭日史記 芳幾画 全九枚揃 初摺 明治 28 一六,000
F 真草歌合せ百番 (内一番九) 室町・江戸初期 一帳 一五,000
G 季刊銀花 一号～三〇号 30冊揃 昭45 一六,000
H 広重名所江戸百景三十六勝 昭和初期復製揃 一六,000
I 歌舞伎隅取図説 上野忠雄 一帳 一五,000
J 歌舞伎隅取概観 小林勝著 (くわりあそさえて刊) 一帳 一五,000
K 市川家秘伝隅取図卷 彩色木版摺 四〇圖一冊 大7 一五,000
L A 国劇と臉譜 (京劇隅取図集) 大版二軒 民国58 一五,000
M B 国宝伎楽舞楽面大觀 全100圖 描 飛鳥閣 (南昭5) 一五,000
N C 瓜哇古面譜 (瓜哇島10図のうち、日本古面10図は本版の内) 大12 一五,000
O D 国書総目録 元版天金本 九冊揃 昭38 一五,000
P E 大和文化研究 創刊号～十五卷五号迄揃 一帳 一五,000
Q F 大和文化研究会 上村六郎・山崎勝弘 函入 一五,000
R G 奈良六大寺大觀 岩波書店 元版 129冊 昭28 一五,000
S H 大和古寺大觀 岩波書店 14冊揃 昭43 一五,000
T I 再撰花洛名勝図会 美本 7冊揃 昭51 一五,000
U J 日本色名大鑑 上村六郎・山崎勝弘 函入 一五,000
V K 万花譜 辻永著 8冊揃 元治 一五,000
W L 浪華風流料理鑑 冬春夏の巻 大阪料理研究会 12冊揃 昭32 一五,000
X M 西洋の影御を受けたる日本画 黒田源次 12冊揃 昭44 一五,000
Y N レオナルドダヴィンチの創造的精神 板垣鷹穂著 120冊揃 六冊揃 昭19 一五,000
Z O ダヴィンチの絵画論 杉田益次郎 三冊揃 昭5 一五,000

御注文は各書店へ

〒 604

京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

1 世界文学大系	筑摩書房	揃 100 冊 昭 44	二〇、〇〇〇
2 世界文学	世界文学社	昭 21	二〇、〇〇〇
3 世界批評大系	筑摩書房	揃 7 冊 昭 49	七、〇〇〇
4 世界名詩集	平凡社	揃 26 冊 昭 42	四、〇〇〇
5 世界名詩集成大成	平凡社	揃 18 冊 昭 34	四〇、〇〇〇
6 世界紀行文学全集	修道社	揃 21 冊 昭 34	三五、〇〇〇
7 現代芸術叢書	弘文堂	揃 8 冊 昭 45	四、〇〇〇
8 エリオット選集	彌生書房	揃 5 冊 昭 42	三、〇〇〇
9 フィリップ全集	新潮社	揃 3 冊 昭 4	一、〇〇〇
10 ロマン・ロラン全集	みすず書房	揃 36 冊 昭 34	五、〇〇〇
11 ランボー全集 特装本	金子晴訳	揃 16 冊 昭 50	六、〇〇〇
12 ジャン・ジュネ全集	新潮社	揃 4 冊 昭 45	五、〇〇〇
13 シャンヌ・ヴェーユ著作集	春秋社	揃 2 冊 昭 15	四、〇〇〇
14 リアル・アダン短編選集	弘文堂	揃 2 冊 昭 45	四、〇〇〇
15 サント・アブ選集	中山昌樹訳	揃 4 冊 昭 23	二、〇〇〇
16 ホーフマンスター選集	河出書房	揃 4 冊 昭 47	三、〇〇〇
17 ゲオルク・ビュヒナー全集	河出書房新社	昭 50	四、〇〇〇
18 カサノヴァ回想録	青城書房	昭 18	二、〇〇〇
19 千夜一夜物語	其刊行会	揃 6 冊 昭 15	二、〇〇〇
20 ガオガリ全集	河出書房	揃 6 冊 昭 43	二、〇〇〇
21 サンタ・アブ選集	河出書房	揃 8 冊 昭 42	二、〇〇〇
22 ダンテ 神曲	河出書房	揃 4 冊 昭 43	二、〇〇〇
23 シモンズ ダンテ	櫻井書店	昭 22	一、〇〇〇
24 ダンテ 神曲	櫻井忠訳	昭 20	一、〇〇〇
25 ダンテ 神曲	新生堂	3 冊 大 21	一、〇〇〇
26 ホーマー オデュッセヤ	土井晩翠訳	昭 18	一、〇〇〇
27 グレーヴス ギリシア神話	高杉一郎訳	2 冊 昭 36	一、〇〇〇
28 ハリソン ギリシア神話論考	中川芳太郎	研究社	四、〇〇〇
29 北欧民話	高木真一訳	山一書房	四、〇〇〇
30 英米文学史講座	上智大	昭 21	一、〇〇〇
31 近英文芸批評史	矢野峰人	全国書房	四、〇〇〇
32 佛經原文と英文学史	研究社	昭 20	一、〇〇〇
33 イギリス文学史	昭 18	一、〇〇〇	
34 最近英文学研究	平田禿木	長風社	大 2

35 エリザベス朝文学論	石川貞四郎	研究社	昭 44
36 スペイン花の研究	深瀬基寛	筑摩書房	二冊 昭 31
37 創造的因素	深瀬基寛	筑摩書房	昭 43
38 第二卷	深瀬基寛	筑摩書房	昭 43
39 中世独逸演劇史	内山貞三郎	弘文堂	昭 31
40 マンゲ近代演劇の理論と実際	島村民藏	弘文堂	昭 31
41 フランス古典悲劇の形成	太宰施門	昭 27	一、〇〇〇
42 ポオ全集 上	月暉書房	揃 13 冊 昭 27	一、〇〇〇
43 エドガル・アラン・ポー 益田道三	東京創元社	揃 3 冊 昭 17	一、〇〇〇
44 カーネバートマン訪問記	弘文堂	昭 17	一、〇〇〇
45 ウィリアム・サロー・ヤン戯曲集	竹内公基訳	昭 14	一、〇〇〇
46 ルヴェル傑作集 中島・西田訳	早川書房	昭 14	一、〇〇〇
47 ブラックウッド傑作集 紀田順一郎	創士社	昭 14	一、〇〇〇
48 ピーストン傑作集 構溝正史訳	創士社	昭 14	一、〇〇〇
49 ベーヴェルス短篇集	創士社	昭 14	一、〇〇〇
50 ヒートニア短篇集	創士社	昭 14	一、〇〇〇
51 ドイツ文学史	鼓 常良	創士社	昭 14
52 シュトーゼル短篇集	白水社	揃 3 冊 昭 14	一、〇〇〇
53 フランス古典悲劇選集	白水社	揃 3 冊 昭 14	一、〇〇〇
54 フランス古典悲劇選集	白水社	揃 3 冊 昭 14	一、〇〇〇
55 ロバート・アーチン 独逸文学史	白水社	揃 7 冊 昭 14	一、〇〇〇
56 ルカーチ・ドイツ文学小史 道家忠道	白水社	揃 3 冊 昭 14	一、〇〇〇
57 ノイエ・ザハリヒカイト文学論 武田忠哉	天祐社	昭 14	一、〇〇〇
58 独逸浪漫主義 茅野蔚々	中央公論社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
59 ケスタン 現代ドイツ作家論 飯塚信訳	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
60 ホーフマン—浪漫派の芸術家 吉田六郎	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
61 ルカーチ・ドイツ文学小史 道家忠道	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
62 シラーと希臘悲劇 新関良三	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
63 ホーフマン—浪漫派の歌基礎の研究 雪山俊夫	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
64 リルケの文学世界 塚越 敏	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
65 ゲオルゲ・トリルケの研究 手塚富雄	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
66 反神話の季節 カウホー	白水社	揃 4 冊 昭 14	一、〇〇〇
67 アミエルの日記 フランス・ルネサンスの人々 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
68 ギヨエテ研究 改訂学生版 茅野蔚々	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
69 エッジーの比較文学的研究 ジョナサン・カーネバートマン	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
70 ヘルダーリン研究 小牧健夫 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
71 グランドルフ 若きギョエテ	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
72 ロケン イギリス文学史 研究社	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
73 ジンメル ゲーテ 木村謹治訳	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
74 ゲーテとシルレ 本村謹治訳	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
75 フランス古典悲劇の形成 太宰施門	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
76 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
77 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
78 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
79 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
80 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
81 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
82 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
83 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
84 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
85 ボーリードレール 島田謹二	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
86 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
87 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
88 フラムス古文書院昭 14	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
89 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
90 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
91 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
92 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
93 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
94 モリエール全集 初版 金尾文淵堂	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
95 フローリヨルジ・ユナンドへの書簡 中村光夫訳	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
96 バルザック全集 東京創元社	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
97 バルザック研究 人間喜劇の成立 安土正夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
98 アラン・バルザック 小西茂也訳	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
99 アラン・バルザック 小西茂也訳	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
100 フランソワ・ラブレエ 市村恵吾	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
101 小場瀬卓三	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
102 フランソワ・ラブレエ 市村恵吾	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
103 アラン・知慧についてなど 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
104 フランソワ・ラブレエ 市村恵吾	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
105 蟹脚散記 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
106 空しい祈禱 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
107 架空旅行記など 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
108 うなりり先生ホーム話 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
109 ゴーチエ 青春の回想 渡辺一夫	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
110 ジョナサン・カーネバートマン	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇
111 ラヴィルクド 新しいロシヤ	篠原正雄訳	昭 14	一、〇〇〇

111 110 109 108 107 106 105 104 103 102 101 100 99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0	111 110 109 108 107 106 105 104 103 102 101 100 99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
--	--

御注文は各書店へ

〒604 京都市中京区寺町通三条北

其

中

堂

〒600 京都市下京区七条通堀川角

谷

書

店

A 四分律含注戒本疏 古活字版 正保頃刊 100,000
道宣 四卷合四冊科文一冊付 金毛窟旧藏電話(075) 二三一 一一九七一
振替 京都 五三八番電話(075) 三六一 一七六九五
振替 京都 一一七九B 東本願寺积穀亭前之図 莉香岡 文山鍋 15,000
22.7 cm × 35 cm 明治20年頃

金毛窟

経本疏

金毛窟

道宣

正保頃刊

100,000

1 英訳臨済錄 佐々木ルース訳 禅文化研究所刊	二,000
2 英訳絶觀論附現代語訳 柳田聖山・常盤義伸訳	二,000
3 英訳無門関 R. H. ブライス訳	一,000
4 英訳正法眼藏第一卷 西山広宣訳	三,000
5 全 第二卷 (第三巻は未刊) 全	三,000
6 英訳正法眼藏隨聞記 橋井雄峯訳	二,000
7 英訳永平大清規 鈴木大拙訳	一,000
8 英訳大乗起信論 新田大作	二,000
9 英訳入楞伽經 田村芳朗訳	一,000
10 英訳無量義經・觀普賢經 宇津木二秀訳	一,000
11 英訳阿弥陀經 芝山和尚	一,000
12 漢詩の作り方 林吉溪	一,000
13 漢詩入門 白隱禪師	一,000
14 作詩閑門 原田祖岳	一,000
15 平仄字典 倉賀野恵徳	一,000
16 梵偈韻套・禪偈摘葉 赤尾龍治	一,000
17 仏教漢文の読み方 藤本雄重	一,000
18 延命十句觀音經講話 佐藤密良	一,000
19 新風盤珪の不生禪 佐藤密良	一,000
20 盘珪禪師逸話集正統 佐藤密良	一,000
21 盘珪禪師全集 佐藤密良	一,000
22 楽天の禪語 佐藤密良	一,000
23 仏教漢文の読み方 佐藤密良	一,000
24 法句經 佐藤密良	一,000
25 茶席の禪語 佐藤密良	一,000
26 禪林句集 佐藤密良	一,000
27 禪林世語集 佐藤密良	一,000
28 無門関訓註 佐藤密良	一,000
29 禪宗四部錄訓註 佐藤密良	一,000
30 毒語心経訓註 佐藤密良	一,000
31 六祖壇經訓註 佐藤密良	一,000
32 禪語集 佐藤密良	一,000
33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1	一,000

B 東本願寺积穀亭前之図 莉香岡 文山鍋 15,000
 22.7 cm × 35 cm 明治20年頃
 『京都寺境内版画集』の解説には、中村文山作である、とあるが、これには確かに文山鍋とあり、石版というものは間違いで銅版であろう。



33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
 大乗道の実現 三冊揃
 伝梵文十地經 現代訳註
 川瀬光順

振替 京都 五三八番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

番

〒600 京都市下京区寺町通仏光寺下る

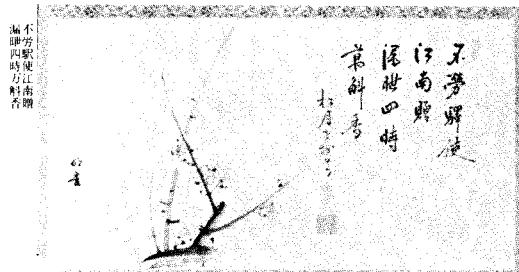
三密堂書店

文藻堂

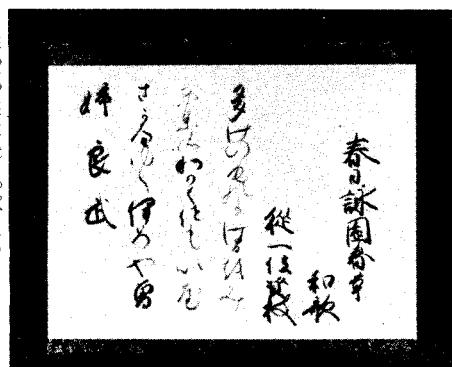
〒604 京都市中京区新鳥丸通竹屋町上ル 振替 京都22807
電話 (075-231-1914)



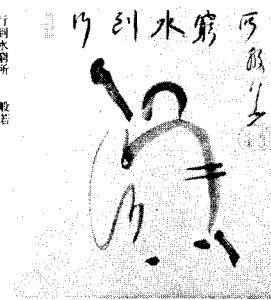
4 太田蜀山人筆狂歌幅 紙装本紙巾 26×104 桐箱入 美一幅 五〇、〇〇〇



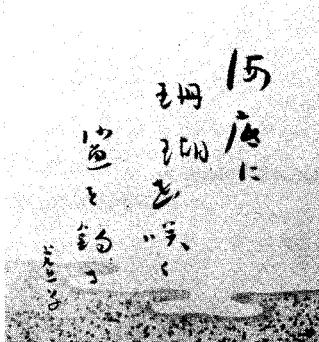
2 大徳寺宝和筋賀梅画贊 絹三段装横幅
杉箱入本紙巾 50×28 美一幅 ￥250,000



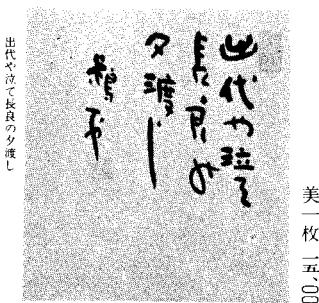
3 日野資枝筆和歌大懐紙幅 上絹三段装
本紙巾 51×38 桐箱入 美一幅 ￥75,000



8 妙心寺長山本玄峰筆画贊色紙
美一枚 三六、〇〇〇



6 高浜虚子筆俳句色紙
金雲地模様 極美一枚 二五、〇〇〇



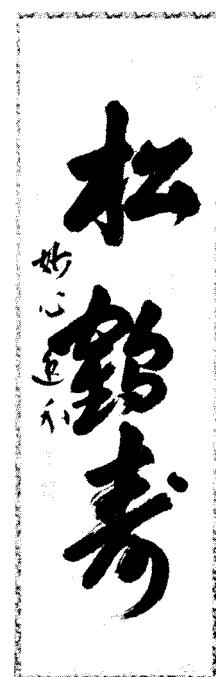
7 塩谷鶴平筆俳句色紙
美一枚 二五、〇〇〇



9 江見水蔭筆俳句画贊色紙
僅汚一枚 二三、〇〇〇



1 春叢紹珠筆拾得画贊幅 山田無文和書中廻絹上下紙装 杉箱入 一幅 二六〇、〇〇〇



5 前妙心寺高梶浦逸外筆一行書 紹三段装自題(桐)其箱入 極美一幅 五〇、〇〇〇

染織の美

ワイドでカラフルな美術誌

奇数月15日刊 ●2,500円



▶各号の特集◀

- ①「辻が花」発売中
 - ②「更紗」発売中
 - ③「友禅染」発売中
 - ④「能装束」3月刊
 - ⑤「紅型」5月刊
 - ⑥「茶屋辻」7月刊
 - ⑦「正倉院」9月刊
- 以後隔月15日発行

※内容見本ご希望の方は、
弊社「染織の美」係へ。

美術図書全般の出版並に販売 ————— 株式会社 京都書院

※染織美術関係図書、ご用済みの方はご連絡下さい。

高価にて買受けいたします。

株式会社 京都書院
604 京都市中京区堀川通三条上ル
(075) 841-9123・振替京都 663番

和チベット文
訳

大日經略釈 近刊

北村太道著

吉祥真雄著
曼荼羅図説

A5判／上製函入／二〇六頁
■定価二,〇〇〇円 一千六〇円

(現図種子曼荼羅図付)

現代のわれわれが日々の生活の中で弘法大師の教えをどのように生かし、A5判／一〇九頁
本書は明快に、この問題に答えている。
若い執筆者たちの燃える情熱と真摯な努力によって、まさに現代に蘇え
る大師の教えがここにある。

弘法のことば

・推薦の言葉

名古屋大学教授 文学博士 宮坂宥勝

真言文庫シリーズ第一集

真言友の会編

仏教書取り揃えております。
葉書にて御照会下さい。

其

電話(075)二三二一九七一一番
振替京都五三八番

堂

茶席の禅語 訳注 禅林句集

A6 四五六頁
二、〇〇〇円 一千六〇円

柴山全慶老師輯

文政堂

600 京都市下京区寺町通り五条上ル
電話(075) 351-9363・振替大阪3151

第1巻 好評発売中!!

日本染織学会の巨匠・上村染色学の全て
を堂々ここに刊行!!
染織学界の大先達である著者の永年に亘る
染色研究・多方面による発表論文の集大成!
本書は著者が化学的な知識を基礎に、染色
に関する古い文献を涉獵し我が国はもちろん
中国・インド・中東・ペルシアから
インンドネシア等の染色にわたる広汎な研究
を駆使して、染色研究の盲点ともいえる染
の過程の曖昧さに化学的解明の光を投げか
けた好著である。又他の染織論とは異なり
色という視点から捕えられた独自の書でも
ある。不朽の清新さで輝き続けるであろう
染色研究の、古典とも言うべきこの書を現
代に生きる染織家にお送りする。

日本歴史学という前人未踏の分野に挑み、
疾患史と共に日本医学史を体系化した富士
川游史學の全業績を網羅!!

その学問・思想は東西百般に亘る一代の碩
学であり、単行書・諸雑誌に掲載された論
考東西医家の伝記類等の数は夥しい。本書は
その中から特に、医学学関係の著作・伝
記・考証類をことごとく収録するものであ
る。今後の日本文化史研究に、基礎文献の
大集成として学界を益する事甚大。医学界
の方々は言うに及ばず、日本歴史、風俗・
民俗学の方々にも必読の書である。

上村六郎染色著作集

第一巻 好評発売中!!

[内容見本呈]

全六巻

日本染織学会の巨匠・上村染色学の全て
を堂々ここに刊行!!
染織学界の大先達である著者の永年に亘る
染色研究・多方面による発表論文の集大成!
本書は著者が化学的な知識を基礎に、染色
に関する古い文献を涉獵し我が国はもちろん
中国・インド・中東・ペルシアから
インンドネシア等の染色にわたる広汎な研究
を駆使して、染色研究の盲点ともいえる染
の過程の曖昧さに化学的解明の光を投げか
けた好著である。又他の染織論とは異なり
色という視点から捕えられた独自の書でも
ある。不朽の清新さで輝き続けるであろう
染色研究の、古典とも言うべきこの書を現
代に生きる染織家にお送りする。

第六巻 禿葉染色考・禿葉染色の研究
第四巻 村々の民俗と染色
第五巻 日本上代染草考
■体裁 染色隨筆

第六巻 ハワイアメリカ民芸の旅、
旅つづれ・越後・佐渡

第五巻 民芸の旅・丹波布
■定価 第一巻 六,500円
各巻五,500円~七,000円
A5判・各巻平均五〇〇頁

〒606 京都市左京区田中関町2-17
☎075-751-1781

〒101 東京都千代田区三崎町2-20
☎03-263-6348

仏事大鑑

改訂 墓相大鑑

宇野弘願編著 仏事とは何か!葬送儀礼を中心に各法要の作法と心得
についてわかりやすく説き明かす。更に布施・法名戒名・数珠や仏壇
本尊等についても詳細に解説する。●B5・上製函入 一二〇〇〇円

矢島仰著 正しき墓相・墓の在るべき姿を、設計図例など写真・図
版を多用して具体的に説明するお墓の百科事典。改訂に当たり名墓録を
大幅増補、新たに用語解説を付す。●B5・上製函入 一二〇〇〇円

地相・家相大鑑

中村茂樹著 伝統と科学に基づき、迷信・邪説の多い地相・家相論の
今日における意味を実際面から検討、写真・図版を多用して具体的に
説明した家づくりの参考書。

●A5・上製函入 八〇〇〇円

富士川游著作集 全十卷

[内容見本呈]

京都地域史の研究

秋山國三先生追悼会編 故秋山國三(同志社大学教授)を追悼する、古
代より近・現代に及ぶ(京都のまち)の歴史論集。執筆者・仲村研、朝
尾直弘、安岡重明ほか十六名。

●A5・上製函入 七〇〇〇円

東洋学関係目録集 第一

川越泰博編 「東洋学関係雑誌目次索引類集合目録」「東洋史研究叢刊
細目次類輯」「中国関係辞典簡目」「中国正史志書研究文献目録」「青丘
学叢」総目次・筆者別索引」を収録。●A5・上製函入 七〇〇〇円

国書刊行会

〒170 東京都豊島区巣鴨3-5-18 TEL 03-917-8287